

～これまでに寄せられた主な疑問等におこたえします～

【疑問等 ①】

支所があれば交通弱者に不便はない。多数の自動車利用者が便利な幸町がよいのでは。

（市の考え方）

○支所があっても、旧長岡市民のなかには、バスを乗りかえて市役所に来なければならない方がいます。

○たとえ少数派でも、無視できません。

【疑問等 ②】

本庁組織を越路や三島支所に分散すれば、スペース不足は解消するのでは。

（市の考え方）

○本庁組織は旧長岡市民にとっての窓口です。

○遠くへ配置すれば大勢の方が不便になります。

【疑問等 ③】

職員的大幅削減で、スペース不足は解消するのでは。

（市の考え方）

○給食調理やごみ収集、合併で重複する管理業務などの分野で、積極的に職員を削減します。

＜参考＞合併前（H16）3,015人→（H19見込）2,800人

○一方、福祉や教育、産業振興など、今後力を入れなければならない分野もあり、本庁舎のスペースは、しっかり確保する必要があります。

【疑問等 ④】

現本庁舎を改修する方が負担が少ないのでは。

（市の考え方）

○改修で対応する場合、市民の負担は45億円です。

○今、中心市街地なら、国の「まちづくり交付金」などで、市民の負担は35億円。改修するより負担が軽くて済みます。

【疑問等 ⑤】

105億円もかけて庁舎を移転するのは反対。

（市の考え方）

○105億円は庁舎と駐車場、現庁舎を中央公民館として活用するための改修費を含む全体額です。

○今、中心市街地という条件なら、国の支援で市民の負担は3分の1（35億円）になります。

【疑問等 ⑥】

駐車場や交通渋滞が心配だ。

（市の考え方）

○来庁者の駐車場は「無料」で「必要数を確保」します。

○信号や道路の見直しなどで、よりスムーズな車の流れを確保します。

（参考）幸町の駐車場数：350台→計画：500台

【疑問等 ⑦】

市役所を配置しても中心市街地は活性化しないのでは。

（市の考え方）

○「まちなか型公共サービス」で中心市街地全体の活性化をはかります。

○これは、商業、観光、居住、文化、福祉、行政など、様々な機能を集積して、便利でにぎわいのある中心市街地を形成するものです。